ホームレス 雑誌販売苦境

コロナ外出自粛、4割減

54歳、自立資金取り崩す

新型コロナウイルス感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言と外出自粛の要請で、路上生活者が自立を目指して売る雑誌「ビッグイシュー日本版」の販売員が苦境に立たされている。多くは大阪や東京など都市部のターミナル駅周辺に立つ。人通りが減ったことが、売り上げに大きく響いている。

「こんな状態、考えられなかったですよ」。数人が歩くだけの閑散とした地下通路を見つめ、販売員の西岡稔さん(54)はつぶやいた。大阪市北区のJR大阪駅近く。梅田スカイビルに続く通路が、昨年2月からほぼ毎日立ち続ける西岡さんの販売スポットだ。

朝6時半に到着。周りの通路を1時間かけて掃除し、夕方まで販売を続ける。サラリーマンやスカイビル内の映画館の客で人通りは多い。「おはようございます」「こんにちは」。あいさつを続けるうち、買ってくれる人が現れる。海外の俳優表紙を飾ることも多く、映画帰りの人が興味を持つ。月2回、最新号が出るたびに買っていく常連さんも。そんな日常が、新型コロナウイルスで一変した。

地下通路に立つビッグイシュー販売員の西岡稔さん ＝9日、大阪市

「人通りは3月から徐々に減って緊急事態宣言でガクッと。今は半分以下です」。テレワークへの切り替えや映画館の営業休止が直撃した。1号当たり220部前後を売っていたが、4月1日発売号は150部に届くかどうか。人が少なく、日曜日は販売をやめた。

1部450円のうち230円が取り分だ。大阪市の発行元によると、全国の販売部数は平均的な月と比べて3月で2割、4月1～7日は4割ほど減った。定期購読を受け付けるなどの対策を始めた。

外出自粛がいつまで続くか、見通しは立たない。映画館の再開も未定だ。「大型連休は売り上げを期待していたんですが」。自立を目指して蓄えてきたお金を取り崩し、生活費に充てる。

緊急事態宣言が出た直後の8日、自転車に乗った30代くらいの男性が西岡さんに声をかけた。「困ったときはお互いさまだから」。バックナンバーも合わせて5冊買っていった。マスクをくれた人もいた。「もちろん1冊でもうれしい。いつでも、お客さんには感謝しています」。そう語るとき、西岡さんの顔に少しだけ笑顔が戻った。

困窮者にアパート無償提供

不動産業の「アンサー倶楽部」(北九州市小倉北区)は14日、新型コロナウイルス感染拡大に伴う倒産や解雇などで住まいを失った生活困窮者にアパート10室を無償で提供すると発表した。同市在住者に限らず、住まいを失った事情などを希望者から聞き取った上で提供先を決める。期間は最長12月末まで。

同社は市内を中心に事業を展開し、今回の対応は「地域貢献の一環」としている。自社で所有するアパート(小倉北区、小倉南区の2カ所)を5月1日から提供する準備を進めている。間取りはワンルームにロフトが付いたタイプなどという。同社＝093(951)6161。(竹次稔)

GW、JR予約過去最低

JR九州とJR西日本は14日、ゴールデンウイーク(GW)を含む24日から5月6日までの予約状況を発表した。新型コロナウイルスの感染拡大が大きく響き、九州新幹線と在来線の予約数は前年比9.3%で、過去最低となった。

予約可能席数に対する予約数の割合を示す予約率をみると、九州新幹線は5.4%(前年比38.9ポイント減)で、在来線特急は5%(同37.7ポイント減)。博多―新大阪間を運行する山陽新幹線は4%(同43ポイント減)にとどまる。利用のピークは下りが5月2日、上りが5月6日。(山下真)

女流王位戦 再び開幕延期

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、西日本新聞社と日本将棋連盟、日本女子プロ将棋協会は14日、札幌市で22日に予定していた第31期女流王位戦5番勝負の第1局を中止することを決めた。開幕は延期する。5月27日に福岡県飯塚市で予定している対局の開催の可否も含め、日程は今後調整する。

5番勝負は当初、4月3日に兵庫県姫路市で開幕予定だったが、22日に延期していた。

5番勝負は、里見香奈女流王位(28)＝清麗、女流名人、倉敷藤花＝に加藤桃子女流三段(25)が挑戦する。

BCG効用「根拠ない」

【ジュネーブ共同】世界保健機関(WHO)は12日付の報告で、乳幼児向けの結核予防のBCGワクチンが新型コロナウイルス感染を防ぐ可能性があるとの説について「根拠はない」として、使用を「推奨しない」と言明した。

本来の目的以外に使われると供給不足を招き「乳幼児がワクチンを受けられなくなり、結核の発症や死者が増える可能性がある」と懸念。一方で、二つの臨床試験が進行中で結果が判明し次第、BCGワクチンが新型コロナウイルスにも効くのかどうかWHOとして判断するとしている。

鳩山衆院議員は陰性

自民党の鳩山二郎衆院議員(福岡6区)は、秘書の新型コロナウイルス感染を踏まえてPCR検査を受けた結果、陰性と確認された。関係者が14日、明らかにした。東京・永田町の議員会館にある鳩山氏の事務所に勤める60代男性秘書は5日夜から発熱、11日に陽性と判明した。

「奄美・沖縄」の審査延期

国連教育科学文化機関(ユネスコ)は14日、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、6月から中国で開催予定だった世界遺産委員会の延期を決めた。日本の自然遺産候補「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」(鹿児島、沖縄)の登録審査が行われる予定だった。日本政府によると、委員会の延期は極めて異例。ユネスコはホームページで新たな日程は検討中としている。

高松塚修復後初の公開が中止

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため文化庁は14日、5月16日から22日まで予定していた高松塚古墳壁画と、5月16日から6月14日までのキトラ古墳壁画の一般公開を中止すると発表した。

両壁画はいずれも奈良県明日香村にあり、国宝。年4回公開しており、「飛鳥美人」の愛称で知られる高松塚古墳壁画は、約13年におよぶ修復が3月末に終了してから初の公開になるはずだった。

ICU、9割60―80代

半数に人工心肺 当初無症状者も

感染研分析

国立感染症研究所は14日までに、国内の新型コロナウイルス感染者516人について分析した結果を公表した。詳しい治療内容が判明した323人のうち、症状が重く集中治療室(ICU)に入ったのは高齢者を中心に35人。うち18人は血液を管で体外に出して酸素を供給する人工心肺装置「ECMO(エクモ)」による治療を受けた。この中には当初、無症状だった人もいた。ICUで治療を受けた患者は70代が最も多く、60～80代で約9割を占めた。一方で20代と40代も1人ず

濃厚接触者に警告

政府アプリ開発へ

シンガポール版モデル

政府は新型コロナウイルスの拡大防止に向け、濃厚接触の疑いがある人に警告するスマートフォン向けアプリをIT企業と協力して開発する。感染拡大を押さえ込む有力な手段として期待されており、月内にも実証実験を始める。プライバシー保護のため、厳格な情報管理が必要となる。

政府が目指すのはシンガポールで実用化された追跡アプリの日本版。アプリを導入した人同士が一定の時間近くに居合わせると、近距離無線通信「ブルートゥース」を使ってアプリに記録を残す仕組みを想定している。感染が判明した場合、記録をたどり、近接していた人に濃厚接触の疑いがあ

佐賀知事「新幹線は不急」

国交省、与党議員いらだち

「コロナ優先」TV会議先送り

九州新幹線西九州(長崎)ルートの新鳥栖―武雄温泉の整備方式を巡る国と佐賀県の調整に、新型コロナウイルスの感染拡大が影を落としている。協議入りを急ぎたい国土交通省はテレビ会議の導入を模索するが、県側は「急ぐ状況にない」と否定的で、姿勢の違いが鮮明。国交省や与党議員は、足踏み状態へのいらだちを募らせている。

「環境が整わない状況かなと思う」。同県の山口祥義知事は14日の記者会見で今後の議論の進め方を問われ、こう語った。山口氏は、感染対策に県庁を挙げて取り組んでいるとした上で、テレビ会議で新幹線関連の議論をすることは「必要性の順番で劣る」と強調。協議入りを目指す国との調整は「対面で話すべき内容」として、事態が一段落するまで先送りする考えを示した。

整備方式を巡っては、国交省が1月に協議入りの前提などを確認するための文書案を県に提示。県は内容を不服として3月に文書案を作り直して返送したが、国交省がさらに修正した案を2日後に送り返し、県が説明を求めている。

県は4月以降、担当部長が県庁で国交省側に応対する考えだったが、政府の緊急事態